

## 音楽プロジェクトコンサートに参加して ～よみがえった学生時代の思い出～

F55 野村 正裕

2023年4月1日。花見で盛況な鶴舞公園を通り抜けて、「第6回名工大音楽プロジェクトコンサート」を聴くために、名工大構内にあるNITech Hallに向かった。

昔は、NITech Hallではなく「講堂」であって、入学式、卒業式はここで行われていた。私は、学生時代にオーケストラに所属していたので(楽器はコントラバス)、式で奏楽を行うため、4年間、全ての入学式・卒業式に出席した。(ワーグナーのニュルンベルグのマイスタージンガー第1幕への前奏曲の中間部省略版を7回演奏)。名工大の校歌も何となく頭に残っている。

NITech Hallになったのは、2016年のことで、移動式観覧席で、426名収容のようである。現在、入学式・卒業式(学位記授与式)は名古屋市公会堂で行われている。

\*NITech Hall 竣工式のニュース <https://www.nitech.ac.jp/news/news/2016/4981.html>

さて、「名工大音楽プロジェクトコンサート」であるが、現在、名工大オーケストラの顧問もされている名工大基礎類教授の松浦千佳子さん企画で、名工大実務型教員の甚目裕夫(はだめひろお)さんプロデュースによるものである。(甚目さんは鶴舞小学校出身とのこと)

このコンサートは無料で、当初は150名定員の予約制であったが、応募多数のため250名に増員して、応募打ち止めにしたとのこと。松浦先生企画で無料なので、おそらく先生の研究にも関連したワークショップ的なイベントではないかと推測する。

今回は、「『祈り、叫び、願い、怒り』という感情の表現がロック、ミュージカル、クラシックでどのように表現されるか」がテーマで、甚目さんの進行・解説・指揮のもと、各分野のプレーヤーと名工大オーケストラの弦楽器奏者有志がコラボして演奏が行われた。

\*本コンサートの案内: <https://www.nitech.ac.jp/event/2023/04/01.html#m010109>

地元にはゆかりのあるプレーヤーに加えて、クラシックやミュージカルで活躍されているバリトン歌手の大山大輔さんやメジャーレーベルで活躍されているロックヴォーカリスト沢頭 岳さんも出演され、珍しいコンビでの演奏が行われた。例えば、シューベルトの歌曲「魔王」を大山さんと沢頭さんでの二重唱といった挑戦的な演奏等々。

これだけのメンバーを集めて無料だったので、ギャラは大丈夫なのかと少し心配しながらも、楽しませていただいた。

コンサート後にはオーケストラの学生の方々と交流することもできた。私たちの時代は、定期演奏会が第30回になった頃であったが、次回5月27日の定期演奏会は第117回になるという。卒業して40年以上になるが、後輩の皆さんが途切れることなく続けてくれていることは、本当に嬉しい限りである。

また、今回出演のバリトン歌手の大山大輔さんだが、東京芸大を主席で卒業されていて、学生の頃は、日本を代表するバリトン歌手の平野忠彦さんの教えを受けたとの紹介があり、驚いた。私が大学4年生の1980年1月に、名工大オケ創立20周年記念演奏会と称してベートーベンの第九を演奏したのだが、その時バリトン独唱をしていただいたのが平野忠彦さんであったからだ。

コンサート後にそのことを大山さんにお伝えしたところ、「その節は、師匠がお世話になりました」と、クールな返答であった。

また、私が学生の頃は、講堂の南隣の三協会館に部室があり、合奏練習の時は、贅沢にもこの講堂の舞台を使わせてもらっていた。現在、三協会館は内部が改装され、校友会館と名称が変わり、1Fはレストラン、2Fは名古屋工業会(全学同窓会)の本部事務局となっている。

学生の頃の三協会館は、既に十分古い建物で、金管楽器の連中が、しょっちゅう詰まるトイレのヨコで、臭気を吸い込みながら練習していたのを思い出す。当時、指揮者についても、けっこう有名な方々に客演をお願いしていた。今も現役で活躍されている炎のマエストロこと小林研一郎さん、コールドブレンドコンサートを続けられ、ネスカフェのCMにも出ていた石丸寛さん(♪ダバダ〜)、ドイツ人の奥様とトマトジュースのCMにも出ていた大町陽一郎さん(男はトマト魂！)、学生オケに絶大な人気であった堤俊作さん、名フィル時代にカラヤンコンクールジャパンに入賞した竹本泰蔵さん等々。これらの方々と、この講堂で共演できたことは、本当に良い思い出である。

実は、この講堂でコンサートを行った最もビッグな方はユーミンであろう。

私が大学1年生(1976年)の工大祭に、なんとユーミン(当時は荒井由美さん)が来ていたのだ。

その時は、「荒井由美が来てるんだ」ぐらいの感じで、コンサートは聴けなかったのだから、こんなにビッグになるんだったら聴いておけばよかったと。残念。

そんなことを思い出しながら楽しい時間を過ごすことができた。その後は、昼間よりさらに賑わう鶴舞公園を通り抜け、計測会の先輩諸氏とともに中央線ガード下の居酒屋へ向かった。



左から F47 大鹿秀正さん、日本のフレディ・マーキュリーこと沢頭 岳さん、劇団四季「オペラ座の怪人」でも活躍した大山大輔さん、筆者。

写真撮影は F49 大鑄史男さん。コンサート終了後 NITech Hall ロビーにて。